



第7号 令和7年11月21日 校長 安武 裕一

南犬飼中だより

建学の精神「向い原魂」

- 物事をまじめに根気よく続けよ
- 自発的実践活動を続けよ

【輝光祭】

10月24、25日の2日間にわたり、本校の2大行事である輝光祭が盛大に開催されました。今年のスローガンは「光耀白書～繋ぐひととき・繋ぐ記憶～」です。光耀には、光り輝く姿を表しています。生徒一人ひとりが準備から、仲間と協力して作品を作り、一人ひとりの特別な色の個性が輝く姿を、南犬飼中の新しいページ(伝統)に残していくという意味が込められています。みんなで作り上げてできた時間を繋ぎ、大切な記憶にし、多くの人に繋いでいこうという思いがあります。そんなすばらしい思いを、合唱コンクールで大いに発揮してくれたように感じました。合唱コンクールでの各クラスの思いが、クラスの仲間や担任の先生、そして来校してくれた保護者の皆さんの胸にしっかりと届いていたように思います。輝光祭第1日目は、

「開会セレモニー、英語スピーチ、吹奏楽部演奏、合唱コンクール」、第2日目は「セカンドオープニング、和太鼓、少年の主張、広島平和派遣事業、指人形劇、弾き語り&漫才、バンド&合奏&合唱、一般公開(各種イベント)、エンディング」と盛りだくさんの内容で、生徒たちの光り輝く姿がたくさん見られました。多くの保護者や一般の方に来校していただき、会場は大いに盛り上がりました。2学期が始まってちょうど折り返し地点に来ているところですが、今回の輝光祭で得た級友やイベント仲間との絆は、いつまでも繋がりを続けることと信じています。



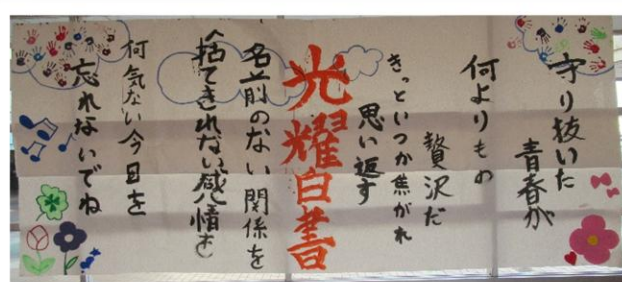
合唱コンクール最優秀賞 3年3組「虹」



迫力ある和太鼓の演奏

【書道パフォーマンスによる作品展示!】

本校1階のホールには、先日の輝光祭、グローバルパビリオンの書道パフォーマンスで作成した作品が飾られています。生徒の思いが込められた力作です。来校した際には、是非、ご覧になってください。



【チューリップの球根をいただきました!】

10月30日(木)、壬生町更生保護女性会の方が来校し、チューリップの球根をたくさん寄贈してくださいました。この球根は新潟産のものです。これから緑化委員会を中心に、是非、綺麗なチューリップの花を咲かせたいと思います。更生保護女性会の皆さん、本当にありがとうございました。



チューリップの球根を寄贈くださった
壬生町更生保護女子会の方々

【みぶバンドフェスタ2025】

11月1日(土)、「壬生ライオンズクラブ結成50周年記念 青少年健全育成 第12回みぶバンドフェスタ2025」が壬生城址公園ホールにて開催されました。式典では、青少年健全育成標語表彰で、本校から優秀賞1名、奨励賞4名の生徒が表彰を受けました。また、本校の吹奏楽部が、「銀河鉄道999、楽器紹介のためのスタジオジブリ、Mrs.グリーンアップルメドレー、映画メドレー、ジョジョ第3部処刑用BGMより(スターダストクルセイダース)、ありがとう」などを演奏し、来場した多くの町民から拍手喝采を受け、会場は大盛り上がりでした。特に、最後の3年生生徒による合奏「ありがとう」では、3年生全員が思いが込められた素晴らしい演奏が会場にいっぱいに響き渡りました。今回の演奏が、この式典の目的である音楽の進行と普及、吹奏楽の演奏活動の増大に繋がり、青少年に音楽が価値ある文化として感じてほしい、心豊かな国際人を目指すきっかけになってほしいと思います。



青少年健全育成標語表彰者

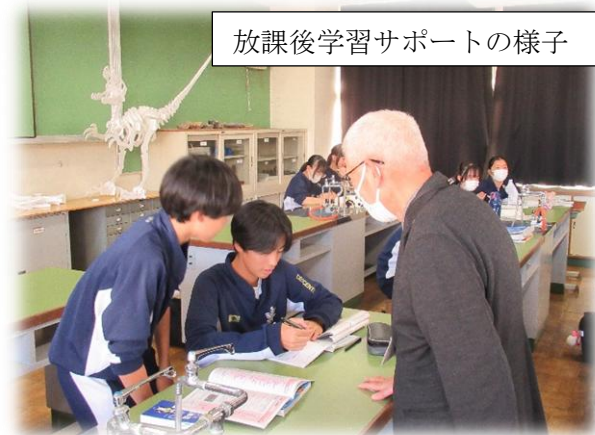


吹奏楽部の演奏

【放課後学習サポート】

11月4日(火)、放課後学習サポートが始まりました。この事業は、中学生の学力向上対策及び地域住民が活躍できる機会の創出を目的として、平成17年度より壬生町教育委員会が主催してきた事業です。“自らの経験やスキルを生かして活動したい”と願う地域住民が無償の放課後学習支援ボランティア講師となり、“進路実現に向けて学力向上を図りたい”と願う中学生の自主学習を支

援していく取組でもあります。受験を控えた多くの3年生生徒が集まり、わからない問題の解き方等について中学生が学習支援ボランティアの方々に質問し、学習支援ボランティアがそれに答える形で学習します。次世代の地域の担い手である中学生が、地域の方々の激励を受けながら学び育つ(すなわち、地域の教育力を受けて育つ)ことは、学力向上における効果はもちろん、“地域に支えられた自分”を実感する上でも効果が期待できる素晴らしい事業です。



放課後学習サポートの様子

【第4回壬生藩校学習館祭り】

11月9日(日)、第4回壬生藩校学習館祭りが壬生城址公園ホールにて開催されました。本校の生徒も壬生論語青少年・町民主張作文・発表コンクール、論語大朗読&リズム朗読、小中学生プレゼンコンテスト、ゼロカーボンシティプレゼン発表に多くの生徒が参加し、日頃の学習の成果を大いに発揮しました。特に、壬生論語青少年・町民主張作文・発表コンクールでは、最優秀賞と優秀賞のダブル受賞を本校生徒が獲得するなど大活躍でした。本町で2009年から論語教育を復活させようと小中学校で素読を導入し、独自の論語検定を設けるなど、小中学校で論語教育が浸透してきました。今回の壬生論語青少年・町民主張作文・発表コンクールで多くの児童生徒が述べていたように、論語の意味をより深く調べ、普段の生活に生かそうという児童生徒が増えてきたことこそ、論語教育の素晴らしい成果だと思います。



プレゼンコンテストで発表する3年生